

ほ場整備とあじさいによる都市近郊地域の活性化

都市的地域

【地区概要】

- ・取組面積58.94ha
(田49.88ha、畑9.06ha)
- ・資源量 開水路4.6km
農道7.1km
- ・主な構成員
農業者、非農業者(土地改良区)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

31.あしがらの農地環境を守る会 (神奈川県足柄上郡開成町)

あしがらかみぐんかいせいまち

- 本地域は、開成町北部に位置する水田地帯であり、多くの農道、水路が存在し、平成3年度から平成13年度にかけて、県営ほ場整備事業を実施した地区である。
- ほ場整備後の農道沿いや水田の畦畔には、あじさいが植栽され、開成町の田園空間を彩り、毎年、多くの都市住民が訪れている。
- あしがらの農地環境を守る会は、農地法面の草刈り等の農地維持活動を実施し、開成町最大のイベントである「開成町あじさいまつり」の下支えをしている。
- 本地域は、古民家を改修し地域の拠点として整備した「あしがり郷(瀬戸屋敷)」を中心に、地域の活性化事業も進めているため、多面的機能支払制度と併せて、都市住民を巻き込んだ資源向上(共同活動)も検討している。

活動開始前の状況や課題



畦畔に植栽されたあじさい

- 主要作物
水稲、開成弥一芋(かながわブランド)
- 田園空間を利用した「開成町あじさいまつり(毎年6月開催)」が37回を迎え、町最大のイベントになっている。
- しかしながら、農道沿いや畦畔に植栽されたあじさいの手入れ、法面の草刈りや水路の清掃等が大変な作業となっていた。
- また、水路や農道の維持管理費は、事業導入前は、多くが地元の負担となっていた。

取組内容

- 農地法面及び畦畔の草刈りを実施。
- 水路及び農道などの地域資源の適切な保全のための点検
- 異常気象時の見回りを改良区と連携を図りながら実施し、緊急時の対応に万全を期した。



水路法面の草刈り

取組の効果

- 法面の草刈りや水路の清掃等について、農業者が積極的に参加するようになり、開成町の田園空間の維持活動への意識高揚が図られている。
【参加者数(延べ)】 R5 930人
- 酒匂川右岸土地改良区が事務支援を行っており、地元農家が農地、農道、水路の維持管理に専念できるようになった。
- 地域の課題を共有することで、現状把握及びそれに向けた解決策を地域で話し合う機会が増えた。
- 今後は、地域の自治会やJAとも連携を図り、資源向上支払活動にも取り組んでいきたい。



水路の清掃